

C-26	資質・能力の育成に向けた授業づくり —高等学校家庭科—						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
高等学校家庭科における「家庭や地域の生活を創造する資質・能力」の育成に向けた、単元構想や授業展開の工夫などについて理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 12名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
6/24 (月) 10:00～16:15	○単元構想と授業づくりのポイント(講義・協議・演習)				教科等指導力①②④		
	○学習評価を踏まえた指導計画の作成(講義・協議・演習)				教科等指導力①②		
携 行 品	<ul style="list-style-type: none"> ・「高等学校学習指導要領解説」家庭編（平成30年、文部科学省） ・「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（令和3年、文部科学省 国立教育政策研究所） ・その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。 						
担当者からの メッセージ	<p>小・中・高等学校の内容の系統性を踏まえた授業づくりについて、協議・演習を交えて考えます。また今年度は、少子化の進展に対応して内容の充実が図られた、「A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3) 子供の生活と保育（家庭基礎）」に焦点を当て、授業づくりや指導計画の作成のポイントについて協議や演習を通じて研修を深めます。単元構想や評価計画の作成に悩みや不安を感じている先生方のヒントになるような研修を目指します。</p>						

(連絡先：教科・研究チーム TEL 018-873-7203)